

JAFICA 未来に続くインテリアコンテスト 2024

キズナでつながろう、共創の未来へ。

実例部門応募シート

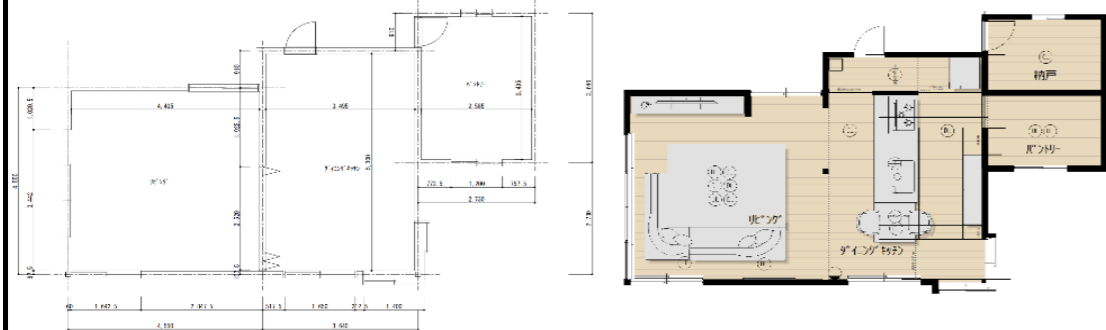
フリガナ	イツカ ナツコ
応募者名	飯塚 奈津子
<small>※グループの場合はグループ名</small>	
会社名 (部署名)	ソレイユ カラー&インテリアデザイン
連絡先住所	山梨県
携帯番号 <small>※日中連絡の取れる番号</small>	
メールアドレス	
種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> リフォーム <input type="checkbox"/> モデルルーム <input type="checkbox"/> インテリアコーディネート
応募作品所在地	山梨県甲斐市
完成年月日	2024年6月
築年数	35年
応募資格	インテリアコーディネーター
応募作品名	つむ 「継ぐを紡ぐ」 ～時間を継ぐ、世代を継ぐ～

コンセプト (作品説明)
庭園の緑が美しく、随所に先代のこだわりが感じられる木造建築の家。2代目であるクライアントからLDKのフルリノベーションのご依頼を受けてまず思ったことは、年月が経っても色あせていない化粧梁や建具は残したいということ。それはクライアントも同じ想いだったようで、そこからスタートしたインテリアデザインは格子がキーとなり、全体的に直線的なデザインでまとめましたが、有機的なデザインを取り入れて緊張感のない空間を目指しました。でも、これらの根底にあるのは常に「継ぐ」でした。家を継ぎ、ここからまた子どもたちへと継いでいく。その想いを、素材と色で、また建築的に重要な筋交いもデザインに取り込んで表現。織物壁紙、絹織物を使ったアートパネル、海洋性廃棄物をリサイクルして作られたカーペット・・・。家業は建設会社です。この家だけでなく、家業も継いでいく。それは持続可能な建築や環境を、次の世代につなげていくことにも通ずるものだと考えました。

リフォーム前の平面図

リフォーム後の平面図

それぞれ独立していたダイニングキッチンとリビングを一つの空間とし、ホールから続く納戸は分割。半分はキッチンから出入りできるパントリーとした。



リフォーム前の写真 (2~3枚程度)



リフォーム後の写真 (作品コンセプト、工事内容が明確にわかる写真4枚程度)



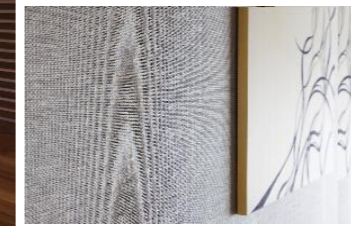
この家の要となる大きな筋交いが、建物全体を支える重要な役割を担っている。これを残すことで次世代に安心して受け継がれ、持続させることができる。

あらゆる形に結ぶことが出来る「紐」。どこまでも伸びていく様子は刻一刻と変化していく時間の流れと、その中で続く人との出会いや結びつきを表す。唯一無二のデザインを、絹織物の壁紙にのせて。

アップサイクルされたカーペットはシルクのような肌触りで心地よい。どこか枯山水のように感じるモチーフが、美しい日本庭園にリンクしていく。インテリアイメージは、シック 和モダン。



麻と紙の織物壁紙は日本の伝統柄である格子柄。



【応募作品の権利について】 応募作品の著作権は応募者に帰属します。ただし入賞作品の発表・掲載に関する権利は主催者が保有します。

【個人情報の扱いについて】 提出された個人情報は適切に管理し、承認なく第三者に開示、提供いたしません。